

「JENESYS2022」中国農村青年幹部フォローアップ事業 オンライントークセッション ～コロナ後の農村振興～の記録

1. オンライン交流概要

【目的】

農業・地方行政分野における「コロナ後の農村振興」をテーマに、JENESYS 事業への参加経験がある被招へい者に対するフォローアップ及び日中両国の相互理解と友好促進を図ることを目的に、本交流を実施しました。

【参加者】中国側 20 名（2016・2018 年度に招へいした中国農村青年幹部）

日本側 4 名（ファシリテーター 1 名、訪日交流の受け入れ先 3 名）

【日程】

日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応（参加者の人数実績）
2023 年 3 月 23 日 群馬県 長崎県 山梨県	① 開会 （趣旨説明、参加者紹介） ② ファシリテーターによるイントロダクション ③ 日本側登壇者 3 名による発表 1) 都市と農村の交流の今後について 2) 長崎県農業の今後の方向性 3) その後の歩みと今後の課題と目指す方向性 ④ 質疑応答、ファシリテーターによるまとめ ⑤ 中国側登壇者 3 名による発表 1) 新時代・新使命—住みやすく働きやすく美しい農村の建設に向けて大学生村官の果たす新たな役割 2) 「ポストコロナ時代」の新しい農村振興—農村の農村への回帰 3) ポストコロナ時代の美しい農村建設	はじめにファシリテーターがコロナ直後の日本の農業におけるプラス面・マイナス面を紹介し、今後の農業・農村戦略をどう考えていくべきかと問題提起しました。続いて、日本側からコロナ禍による具体的な影響のほか、地域の資源を生かした観光農園や森林バイオマス発電、スマート農業や新規就農者を増やす取組、民間企業として取り組む環境保護や地域の社会貢献など、様々な「農村振興」に関する取組が紹介されました。中国側からは、彼らが取り組む農村建設として、景観やインフラ環境の整備、文化を掘り起こし観光業を盛り上げる地域振興等について紹介されました。 参加者から、「賞味期限切れの商品の処分方法」「E コマースの販売方法」等の質問が挙がり、最後にファシリテーターから「農業を他の産業や地域資源と掛け合わせ新しい地域の産業を生み出すこ

	⑥ 自由討論、ファシリテーターによる総括	とが、これからの日中両国が共有できるテーマである」とのメッセージが伝えられました。 (参加者：中国側 20 名、日本側 4 名)
--	----------------------	---

2. 記録写真

	
2023 年 3 月 23 日 集合写真	2023 年 3 月 23 日 中国側登壇者による発表

3. 中国側参加者の感想（抜粋）

◆行政関係者

今回の発表を聞いて、コロナ後には農村復興のチャンスがあると感じました。また、日本の農村発展のビジョンや発展の方向性から、私たちの村を発展させるための新しい考え方や方法を学ぶことができました。2016 年の訪日時よりも、特色ある農業がより成熟していると感じました。資源面での強みを活かすだけでなく、技術力や人材をうまく活用していました。私たちも資源と条件を組み合わせれば、農業の発展に大きな成果をあげることができると思います。

◆行政関係者

コロナ後の日本の農業の発展について深く学び、大変刺激を受けました。農家が毎日生産、販売して野菜の鮮度を保つとともに、農産物のロス削減する等、日本の農業ネットワークの先進的な取組はとても勉強になりました。私たちも農家と連携し、タイムリーな情報伝達の仕組みを作ること、在庫や供給の問題を解決できると思います。

◆行政関係者

日本の再生可能エネルギーや生態系保護への取組は優れていると思いました。日本の農業は、あらゆる段階において徹底的に研究されていて、ロスがなく、トレーサビリティの仕組みが整っており、農産物の品質が保証されていて、農村の発展に計画的に取り組んでいます。コロナ禍で企業が生き残ることは容易ではありませんが、企業家は非常に現実的で謙虚だと感じました。

4. 日本側参加者の感想（抜粋）

◆行政関係者

今回、むらづくりをテーマに発表を行いました。中国側の発表も同様のテーマで行われましたが、お互い、「美しいむらづくり」を目指して行っていることが分かり、川場村が長年取組んできたことは間違いではないのだと嬉しくなりました。

同時に設備投資などに国力の違いを感じました。中国の方の生の声を聞くことができる貴重な機会を頂きましてありがとうございました。

◆農業経営者

民間企業での視点からの発言でしたが、環境資源を活かした中国での農村の開発の進め方や規模にとっても驚きました。日本の場合では、地方での都市開発には大規模な投資がなかなか進まないの、財源なども気になりました。また、インフラへの投資だけでなく、文化的レベルを上げるための設備投資を含めた教育に、とても感心しました。

SDGs の観点からも農村地域の復興が上位の課題と位置づけられ、推し進められているようで、日本も同調して何かできればと思うばかりです。

5. 参加者の対外発信、報道記事等


2023 年 4 月 4 日（保定市人民政府外事办公室主页） “省友协组织我省大学生村官代表参加中日青年线上交流活动” 对话会上，围绕后疫情时代下的农村发展议题进行发言，宣传推介了各自家乡发展情况，介绍了助力乡村振兴方面的相关举措。
2023 年 4 月 4 日（保定市人民政府外事办公室ホームページ） 「河北省友好協会が組織する省の農村青年幹部の代表が中日青年オンライン交流活動に参加しました」 ポストコロナ時代における農村振興を議題に発言し、互いに故郷の発展状況と、地方創生に役立つ関連施策について紹介しました。

実施団体名：（公財）日中友好会館